

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立みつば幼稚園)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 遊びの充実と学び(幼稚園での学び) 2. 豊かな心の育成(感動体験と自己発揮) 3. 健やかな体の育成(生活習慣の確立と健康な体づくり)

2 1回目評価

<ul style="list-style-type: none"> 重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 				<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理 		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">自己評価</th></tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成26年10月24日</th></tr> <tr> <th>評価者・組織</th><th>評価委員会</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <th>分析 (成果と課題)</th><th>自己評価に対する改善策</th></tr> </tbody> </table>		自己評価		評価日	平成26年10月24日	評価者・組織	評価委員会	分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校関係者評価</th></tr> <tr> <th>評価日</th><th>平成26年10月27日</th></tr> <tr> <th>評価者(いずれかに○)</th><th>○学校運営協議会 学校評議員</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <th>学校関係者評価による意見</th><th>学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策</th></tr> </tbody> </table>		学校関係者評価		評価日	平成26年10月27日	評価者(いずれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
自己評価																									
評価日	平成26年10月24日																								
評価者・組織	評価委員会																								
分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策																								
学校関係者評価																									
評価日	平成26年10月27日																								
評価者(いずれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員																								
学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策																								
1 遊びの充実と学び	言語活動	月刊絵本と絵本室の活用	・ 絵本室の環境と絵本貸し出し ・ 月刊絵本を親子で楽しんでいきたい	・ 親子で絵本を楽しむ回答は、ほぼAB評価。	⇒	月刊絵本・絵本室の活用は幼稚園が環境を整えることにより、親子の触れ合いの場となっている。引き続き、子どもが心を動かす環境を整える。保育時間中の絵本室の活用を考える。	絵本室の活用は、絵本ボランティアの協力があり、子どもの育ちが顕著に表れている。親子で絵本を好きになる環境や子供が絵本を好きになる環境について、教職員もアイディアを出していきたい。	子どもにとって、絵本室がより身近になるよう、展示物の工夫を考える。(出入り口付近の掲示物など)	PTAと協力して、かわいい、子どもが興味を示す掲示物を考える。まず、子どもが絵本室に行ってみたくなる環境をPTA・教職員と協力して整えていく必要があると感じる。																
	豊かな経験や体験	子どもが主体的遊ぶ環境づくり	・子どもが心を動かし様々な発見ができる環境	・園内環境や園外保育について、良い評価。																					
2 豊かな心	豊かな感動体験	造形活動や伝統文化に心を動かす経験	・美しい、心地よい音に触れる生活	伝統行事へのかかわりは100%が育ちにつながる評価。	⇒	様々な感情体験をすることで心の育ちにつながると保護者が考えている結果が出た。子ども一人一人の気持ちに寄り添い、内面理解を図る。	幼稚園の行事の見直しと、環境の設え、個々の思いに沿った教師の言葉がけについて研究していく。身近な人への挨拶についても、子どもの心を探っていく。	伝統文化へのかかわりについて、100%の評価をもらったことは、学校運営協議会の取組が、子どもの育ちにつながっていることへの評価につながっている。	夏祭り(地域行事)や餅つき(園行事)等の行事は、保護者や子どもたちが多くの地域の人たちとの触れ合いの場となっている。今後も、学校運営協議会が応援団として良い行事になるよう動いていきたい。																
	自己発揮と他者への理解	個々の心の読み取り	・子ども良いところ認め、励まし。身近な人と挨拶を交わしかかわる	AB評価を合わせると9割の評価。個に応じた援助を求める意見がある																					
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早や寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ	規則正しい生活ができるか	ほぼ、AB評価で、生活習慣の自立については進んでいる。	⇒	身の回りの評価については、C評価が1割ある。家庭との連携の続ける。園庭・広場の環境を生かす工夫をさらに考える。	生活習慣の自立については、保護者も感じ取り努力されている。発達年齢に応じた生活習慣の確立について連携していきたい。また、体力づくりも行いたい。	個々の育ちを保障するためにも、生活習慣の自立は、今後引き続き進めていくことが大切である。	子どもの育ちを見ていく中で、幼稚園での子どもの変化等を保護者に伝えながら、生活習慣を身に付けられるよう進めていってほしい。																
	園庭・広場の活用と体力づくり	運動遊びを通して調整力を養う	個々の動きと心の動き	走る姿、遊具で遊ぶ姿は成長が見られる。																					
4 独自の取組	地域や校種間連携	特養訪問 小・中・地域との連携	地域や学種間連携は、子どもの育ちにつながっているか	良い評価がある。	⇒	地域や校種間連携の積み上げは、子どもの姿に表れているという声がある。それは、食育につながっている。預かり保育の充実は、良い評価があり、声も上がっている。	地域や校種間連携は、毎年行われており、教育計画に位置付けられている。きめ細やかな計画をし、進めたい。教育相談や預かり保育等も、充実できるよう進める。	地域・小・中の連携についても良い評価をもらっているのは、学校運営協議会の取組が保護者に支持されている結果である。今後も、地域・小・中とつながっていきたい。	子どもの育ちにつながる良い連携ができるよう、動いていきたい。学校運営協議会の取組については、今年度入園した保護者には、わかりにくい部分があるので幼稚園からの発信の方法を工夫する必要がある。																
	子育て支援	教育相談 預かり保育	教育相談や預かり保育は子育ての支援になっているか	教育相談や預かり保育に取り組んでいることは評価は高い。																					
	食育の充実	西賀茂農園の取組	栽培活動(西賀茂農園を含む)は食育につながっているか	食育・栽培活動について良い評価である。																					

